

P 91参照) ただ調査Ⅰ、Ⅱを通じて殆んどの類型が五〇パーセント以下を示しているのが目だつ。即ち、内容的には調査Ⅰにおける厳格、期待型を除くすべてに、また調査Ⅱにおいては積極的拒否型、厳格型、期待型を除くすべてに比較的著しい問題を認めた。しかし調査Ⅰ、Ⅱの間には検定の結果殆んど有意差を認められなかったのであるから、入園当初から卒園時にかけての親の態度に著しい変容性が認められないわけである。

なお①親の態度が入園当初に比較して卒園時によくなくなったもの(五〇パーセント以上になったもの) ②逆にわるくなったもの(五〇パーセント以下になったもの) ③変らないケースについての事例的研究を紹介する。

まず①の例としてのⅠ児(♂)は五歳六か月、IQ一二四(京都・ビネー式テスト)、普通児、特に性格的にも問題はないが、入園当初の親の態度としては過度の不安、溺愛、盲従型が目だつ。これは両親の(特に母)本児に対する必要以上の能力への過信期待があり、(文字をよんだり数をかぞえたりすることの要求)それらが卒園時には矯正された例とみることができよう。(図一参照)

反対に②の例として典型的なR子(♀)は五歳五か月、末子で三年保育児である。IQ一〇九。年少組での保育期間中は甘えっ子であったが卒園間際では問題は認められなかった。しかるに両親の態度としては調査Ⅰでは問題を認めずかえって調査Ⅱにおいてのぞましくない方向に変容を来したのは、もっぱら進学を控えての不安、動揺が表示されたものとして注目されるものである。

③の例としては、〇児(♂)五歳七か月があげられる。この例は本人自身に身体的な欠陥があり、(虚弱体質、斜視、始終消化不良をおこす)加えてIQ八〇で知能的にも問題を有しているにかかわら

ず、親の態度は調査ⅠⅡを通じて危険範囲に停滞している。従つてこのケースは如何に本児の実体を認識せしめ、親の態度の問題性を自覚せしめるかにかかっており、現在小学校とも連絡をとり継続観察を怠らない。

要約 この調査のみで断定的な結論や考察を下すことは出来ないが、親の育児態度に問題性が多く、各類型の平均パーセントイルが低い)なかならず、不安、溺愛、盲従型が多い。しかも調査Ⅰ、Ⅱの間には有意差が認められないことから幼児教育にあたって両親教育の必要性が痛感させられる。(大会発表論文抄録91-92頁)

農村児童の性格と家庭

日本女子大学 児玉 省

小佐野 和子

高神 弘子

過去数年にわたつて国内各地域の農村の家庭とその子どもを自然環境、生産関係、子ども同志の交友関係及び子ども自身の生活様式、態度において把握すべく試みてきた。現在までのところ北は宮城県仙北、山形県庄内、関東は埼玉県箕田村、中部で長野県八ヶ岳山腹、西部で岡山県興除村と茶屋町、四国香川県高松市郊外、愛媛県松山市郊外、大洲市郊外等九ヶ村の児童小学四年または五年、六年、中学一年、二年の四学年を五十名ずつ各地域約二百名並びにその家庭の親を各地域百乃至二百名について主としてアンケートにより、また各地域約十軒をくわしく面接調査した。我々は今まで上述の地域別に子どもの家庭環境、しつけの方針、親の持つ子どもの理想

像、生活習慣、生産活動、学校生活、勉強、興味、社会態度、友人関係及び知的、社会的、情緒的、運動発達を調査して、その家庭環境、自然環境、生産環境及び歴史的伝統的文化的環境との関連において子どもの生活、興味、態度、発達の角度を考察してきたのであるが、この環境の中においてできあがっている子どもの姿こそ、それらの環境の産物であることはまちがいない。いまこれらの地域の中に生活している子どもの生活と興味や態度を綴り合わせて描写した子ども像は環境との関連における子どもの性格像である。ことに環境と家庭を中心に画いてみることにした。

仙北—生産活動よくする。勉強もよくする。村でおもしろいこと：祭。村でいやなこと：けんか、仕事、火事。欲しいもの：テレビ、お金、映画館。親の態度：交友関係、生活習慣、学習面にかなり高い強制度。子どもについての理想像は意志の強い子ども、正直な子ども。子どもの社会的関心、国際的関心極めて低い。

庄内—生産活動あまりしない。勉強もしない。村でおもしろいこと：祭。村でいやなこと：けんか、颱風、火事。欲しいもの：テレビ、お金、本。親の態度：交友関係、学習面、生活習慣に高い強制度。子どもについての理想像は意志の強い正直な子ども。社会的関心、国際的関心低い。

八ヶ岳—生産活動よくする。勉強もよくする。村でおもしろいこと：スケート大会、祭。村でいやなこと：娯楽がない。欲しいもの：テレビ、お金、本。親の態度：全ての面で強制度低い。子どもについての理想像は意志が強く努力する子ども。社会的関心、国際的関心高い。社会党支持者多い。

箕田村—仕事あまりしない。勉強もしない。村でおもしろいこと：祭、遠足。村でいやなこと：仕事、けんか。欲しいもの：テレビ、

お金、本、旅行。親の態度：交友関係、学習面に強制度高い。子どもについての理想像は正直で意志が強くまじめな子ども。社会的関心、国際的関心比較的低い。

興除村—生産活動よくする。勉強もよくする。村でおもしろいこと：祭。村でいやなこと：火事、けんか。欲しいもの：テレビ、お金、旅行。親の態度：交友関係、学習面に適度の強制度。仕事の規正度低い。子どもについての理想像は意志が強い、礼儀正しい子ども。社会的関心、国際的関心高い。

茶屋町—生産活動あまりしない。勉強よくする。村でおもしろいこと：祭。村でいやなこと：火事、けんか。欲しいもの：テレビ、お金、旅行。親の態度：交友関係、学習面に適度の強制度。子どもについての理想像は意志の強い礼儀正しい子ども。社会的関心、国際的関心高い。

高松—生産活動よくする。勉強あまりしない。村でおもしろいこと：祭。村でいやなこと：火事、道路。欲しいもの：テレビ、お金。親の態度：交友関係、学習面にかなり高い強制度。子どもについての理想像は意志が強く礼儀正しい子ども。社会的関心、国際的関心高い。

松山—生産活動あまりしない。勉強よくする。村でおもしろいこと：正月。村でいやなこと：葬式、悪口。欲しいもの：図書館、テレビ、本。親の態度：交友関係、学習面、生活習慣に強制度低い。子どもについての理想像は意志が強く努力する子ども。社会的関心、国際的関心高い。

大洲—生産活動よくする。勉強あまりしない。村でおもしろいこと：祭。村でいやなこと：悪口、火事。欲しいもの：テレビ、お金。親の態度：交友関係、学習面、生活習慣に強制度低い。子ども

についての理想像は意志が強く努力する子ども。社会的関心、国際的関心低い。
(大会発表論文抄録4-7頁)

入園調書からみた母親の教育観

愛育研究所付属愛育幼稚園

植松 治子
住吉 玲子
小島 洋子

幼児が心身共に健全に育つためには、母親の協力が必要である。母親が教育担当者として、適正な幼児教育観を持ち、教育的配慮を持って、幼稚園教育に協力・参加してこそ、教育効果を上げ得るものと思う。従来、一般幼稚園では、母親の協力を得ながらも、幼児教育の実を上げる点においては、必ずしも望ましい発展はしていないようである。そこで我が園では、幼児教育は、むしろ、その母親の教育にありとして、母親教育に重点をおいた。成人の教育は、いろいろ複雑な難かしい問題を持っている。しかし当面の問題は、当園で幼児教育を如何に有効にするか、とゆうことにしほり、入園させた希望を持つ母親の教育観を識っておき、入園後の参考資料としてきた。即ち、入園希望者に、質問紙を配布して記入させる。面接法により、各自の意見を聞く、二方法により、資料を集し、これをまとめて、いろいろの角度から母親の教育観を探らんとした。次にその一部分を述べる。

第一に質問の内容は、五問からなっている。

一、何故この幼稚園を志望されましたか

二、お子様について平生何かお困りの事があつたら書いて下さい

三、お子様と、家族の方との間で問題になるような事があつたら書いて下さい

四、どのような子どもであつてほしいと思いますか

五、お子様の現在の教育法を書いて下さい

この調査は、昭和二十七年より同三十五年までの九年間。整理総数人員、三六六名の意見を次にまとめてみよう。各項目についての記録を左のように分類した。即ちAは食物に関する問題、B身体的問題、C性格的問題、D家族間の問題、F社会環境的問題、この結果は、Cの問題が一番多く、子どもの出生順位についての差はあまり見られなかった。次にEが続いており、ここでは、一人っ子が少々出ている。これは、友達がないということの記述が多かった。第三問に対しては、問題なし、という記述が多かったので、省くことにして、第四問をみると知能的問題が出てきている。しかしここでは、Cの問題が上っている。続いて、Aの問題となっている。第五問では記述の細かな者、複雑なものもあったが、やはり、Cの問題に教育的関心が注がれていることが解った。子どもに対しての、困ることや希望の点については、ある程度はつきりと記述しているが、これが、五問になり自分達の現在の教育法となると、多少分布も広がり、二、三、四問に対しての教育観や、方法は、必ずしも適切な線に添っているとは言えないようである。次に、以上の問題を年度別にみるといつの年代においても、Cの問題を取り上げていることが解る。調査の結果から見ると、子どもに対して良い性格になるよう期待しているが、その後の母親指導の実際の場合では、調査用紙や面談時の記述や意見とは、違った面、即ち知能的問題に關しての、関心が相当にうかがわれ、成人教育の複雑さ、困難さを感じている。